

各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

平成22年8月号

8月25日(水)稲羽コミュニティセンターにて、第1回地域ケア連絡会を行いました。



今回は主なテーマが「生活福祉資金や社会福祉協議会のリバースモーゲージ」でした。民生委員さんや、近隣ケアグループの皆さん、自治会や興味のある地域の方々、そして福祉用具事業者やグループホームなど専門職の方などにご参加いただきました。講師をお願いした各務原市社会福祉協議会地域福祉係の田中新樹さんは、生活福祉資金の種類や貸付の条件などを説明するだけでなく、具体的な事例をたくさん紹介されました。(田中さんがこの日のために準備されたものです。田中さん、本当にありがとうございました!) 事例のおかげでイメージしやすくなり、参加された皆さんも、うなずきながら熱心にお話を聞かれています。田中さんのお話で印象的だったことの一つに、「社協に相談したら、お金の問題もお金の問題だけではなく、原因を考えたり、いろんな視点で考えます。たとえば貸付条件に該当しないと思われても、あきらめずに相談してみてください」というような言葉がありました。



ある地域の方から、「同じ制度でも受付する機関によって解釈がまちまちで対応が異なる場合がある」とのご意見がありました。たとえば、市、社協、地域包括支援センター、はたまたハローワーク……。また、「いろいろな制度を知ることは大切だが、地域で埋もれている支援が必要な人をどうやって発見するか、は、もっと大切だ」とのご意見もありました。こうした貴重なご意見も、今後の地域包括支援センターの活動の参考にしていきたいと思えます。

参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・西脇・林)